



包括連携協定に向けて



□ 玉東町とローカルについて

□ 協定の目的

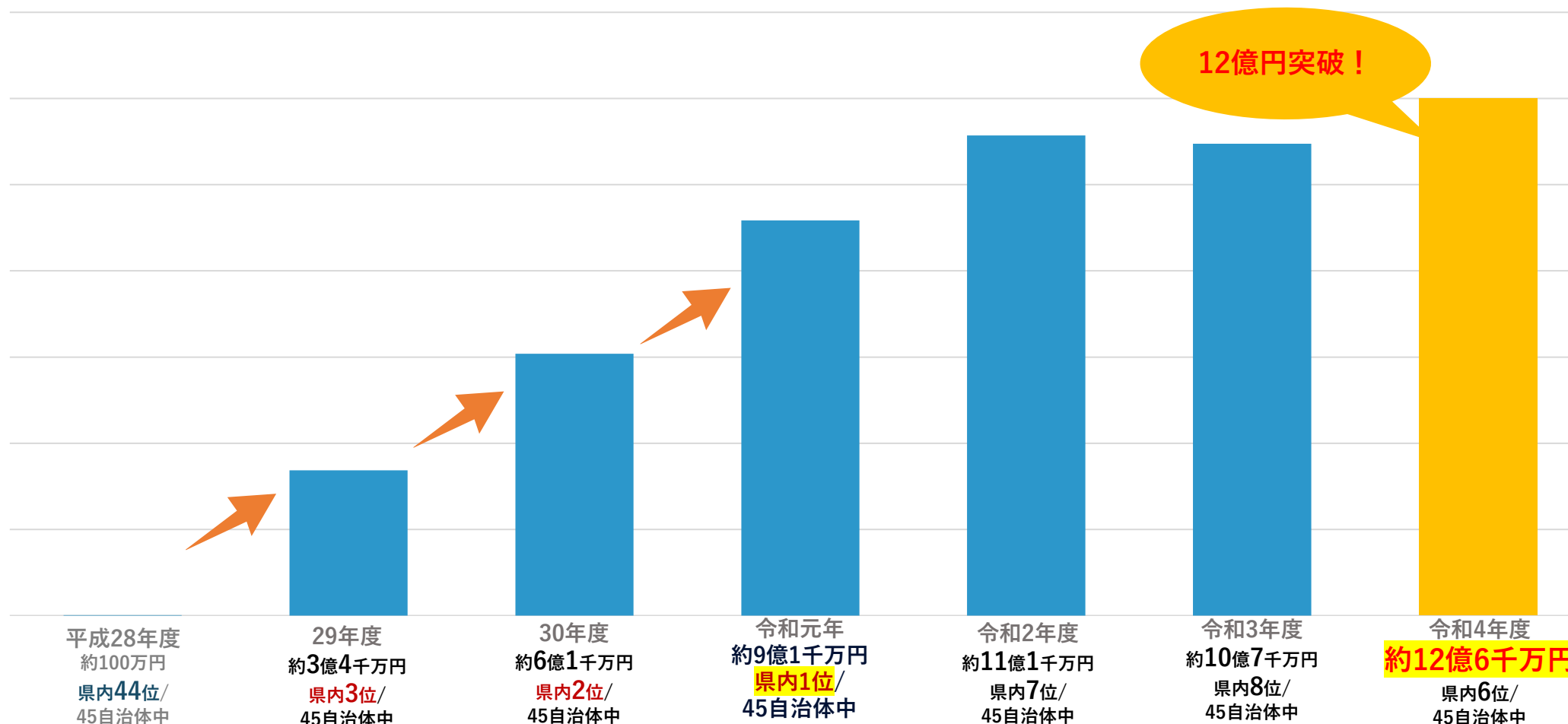
□ 協定事項の概要

□ まとめ



平成29年6月より、ローカルのふるさと納税運営代行の**最初の自治体**として、玉東町の業務をスタートさせて頂きました。

昨年度の令和4年度につきましては、**過去最高寄附額となる約12億円**を突破いたしました。今後も玉東町とローカルで更なる強固な連携を取りながら、ふるさと納税を基軸とした玉東町の地域活性化に向けて尽力して参ります。



玉東町では、「玉東町まち・ひと・しごと創生総合戦略」にて、下記4つの基本目標を打ち出しています。この目標の実現にむけて、これまでのローカルの実績を元に**ふるさと納税を軸**とした**地域経済の活性化**ならびに基幹産業である**農業のさらなる活性化**を目指して、相互理解と協力関係を基本とした新たな協力関係の構築を目指します。

## 【ローカルの実績・強み】

I .ふるさと納税での運用実績

II .EC販売での運用実績

(マーケティング力)

III .自社製造工場の完備

(商品開発力・製造力)

IV .経験豊富なデザイナー

(デザイン力・PR力)



## 【最終目標(玉東町まち・ひと・しごと創生総合戦略)】

I .稼げるまちをつくり、安心して働けるようにする。

(地域資源を活かした産業による雇用創出)

II .このまちへの新しいひとの流れをつくる。

(居心地の良い、住んでみたい、帰ってきたいまちづくり)

III .結婚・出産・子育ての希望をかなえる。

(子育てしやすいまちづくり)

IV .安心して暮らすことのできる魅力的な地域をつくる。

(安心して暮らせる地域づくり)

## 協定事項1. ふるさと納税の促進に関する事項

- 【キックオフ事業】
- ① 町内事業者向けふるさと納税講習会の実施
  - ② 玉東町オリジナルの特産品開発

## 協定事項2. 玉東町産品の販路拡大に関する事項

- 【キックオフ事業】 町内事業者の応援活動としてECサイトでの販売

## 協定事項3. 農産物の付加価値の創出に関する事項

- 【キックオフ事業】
- ① 玉東町地場産品のブランド化を目的としたオリジナル梱包箱の開発
  - ② 玉東町の特産品PR、自治体交流を目的としたオンラインイベントの開催

## 協定事項4. 食を通じた地域づくり・地域の活性化に関する事項

- 【キックオフ事業】 地域活性化を目的とした企業誘致の促進

## 1. ふるさと納税の推進に関する事項

### 【キックオフ事業】① 町内事業者向けふるさと納税講習会の実施

玉東町とローカルの協力により、現在は50を超える町内事業者に参加して頂いています。次のフェーズとして、事業者のふるさと納税への知識を高めていただき更なる寄附額増に繋げて頂きたいと存じます。そのため、玉東町と協力し定期的に事業者向け講習会を開催し、事業者の既存商品の見直しや新規返礼品の開発などに繋げていきます。



※令和5年2/17  
に開催した「ぎよくだ  
んさん事業者説明  
会」



## 1. ふるさと納税の推進に関する事項

### 【キックオフ事業】② 玉東町オリジナルの特産品開発

ローカルは、令和2年に玉東町内に自社加工場を設立、令和4年には水工場の運営もスタート。さらには「ハンバーグ」や「炭酸水」など玉東町ふるさと納税において主力となっている商品開発をおこなっております。これらの設備を活用し、玉東町の産品を使用した新たな主力商品の開発に尽力いたします。  
(みかん、梨、すいか、ハニーローザなどを活用した玉東町オリジナル加工品の製造)

↓水工場



↓玉東町加工場



## 2. 玉東町産品の販路拡大に関する事項

### 【キックオフ事業】 町内事業者の応援活動としてECサイトでの販売

町内事業者については、玉東町ふるさと納税を1つの販路として大いにご活用頂いております。しかし、ふるさと納税以外ではネット販売をされている事業者はほとんどおらず、販路が限られている方も多くいらっしゃいます。

そういった事業者の販路拡大のために、ローカルが運営している「くまもと風土」や「他ECモール」での出品をお手伝いし、一緒に取り組んで参ります。

- ① 「くまもと風土」の看板商品である「訳ありみかん」をローカルに卸していただく。
- ② 「くまもと風土」内に「玉東町専用ページ」を作成し、事業者専用ページを設置予定。



# くまもと風土

地域・風土の“おいしい”をつなぐ

九州の“美味しい”を、あなたのもとへ



# 九州風土

ふーど





## 3. 農産物の付加価値の創出に関する事項

### 【キックオフ事業】 ① 玉東町地場産品のブランド化を目的としたオリジナル梱包箱の開発

玉東町では、年間を通してフルーツを出品可能な、全国的に見て恵まれた風土を持つ産地です。そんな玉東町の強みである「フルーツ」をより強力にPRすることで、玉東町のブランド化を図って参ります。

そこでこのたび、ローカルが玉東町専用「梨」「みかん」の梱包箱を開発させていただきます。毎年約260万件以上の出荷実績を持つローカルの知見を活かし、ブランド化を目的とした新パッケージの開発をおこないます。  
(※事業者によるご使用については、任意となります)



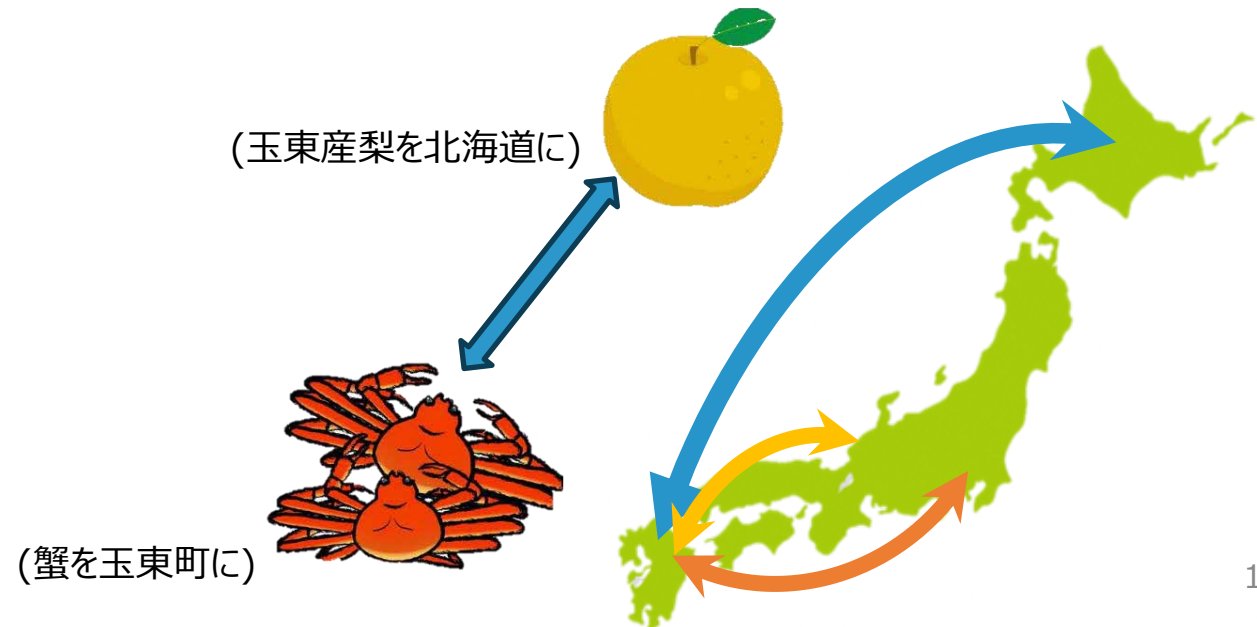
## 3. 農産物の付加価値の創出に関する事項

### 【キックオフ事業】 ② 玉東町の特産品PR、自治体交流を目的としたオンラインイベントの開催

ふるさと納税では、多くの方に玉東町産のフルーツを選んで頂いております。しかし県外の方をはじめに、玉東町ならびに玉東町産フルーツの認知が十分とは言えない状況かと存じます。玉東町のブランド化を進めていくにあたり、多くの方への認知拡大が必要になります。そのため、まずはローカルが契約している他自治体と連携を取り、特産品を交換してお互いの自治体でイベント(販売や宣伝)を行い、一人でも多くの方に玉東町を認知頂くことから、玉東町ブランドの拡大に貢献していきます。(例：玉東産のフルーツを北海道の自治体内で販売して、北海道産の海産物を玉東町で販売)



↑ 他自治体の「ESSE ふるさとグランプリ」時の写真





## 4. 食を通じた地域づくり・地域の活性化に関する事項

### 【キックオフ事業】 地域活性化を目的とした企業誘致の勧誘

これまでふるさと納税を通して集まった寄附金を活用し、町内で加工を行う施設などを建設し、新たな特産品の開発にも力を入れていきたく存じます。その特産品をふるさと納税に出品することで、町のPRならびに寄附額UPへと繋げて参ります。

また、いずれは加工場に直売所を併設し、地元の方々にも手にとっていただけるような場を設けます。

ここまで述べたような好循環を作ることで、ふるさと納税の寄付金をさらに増やし、教育・文化、産業・観光等にも使用できる財源を生み出し町民が暮らしやすい地域の実現を玉東町と一緒に取り組んで参ります。





無限の可能性を

玉東町様・事業者様と。

